



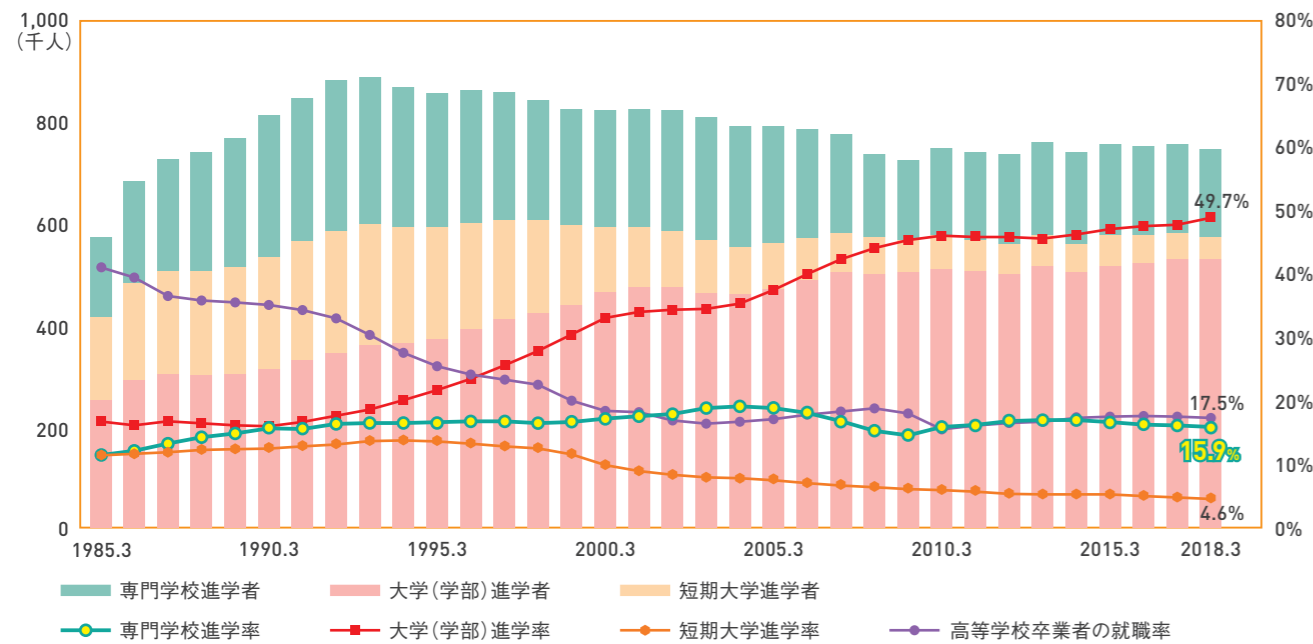
# データで見る 専門学校

## 01 データで見る「専門学校の現状」

### 専門学校への進学率

高等学校卒業後の進学先として、専門学校は大学に次ぐ学生数を受け入れています。新規高等学校卒業者の専門学校への進学率は、2010年度以降横ばいに推移しており、2018年度は15.9%でした。長年にわたり、新規高等学校卒業者の15%超が専門学校に進学しています。

#### 進学状況 ① 高等学校卒業者の進学率の推移 (現役進学率)

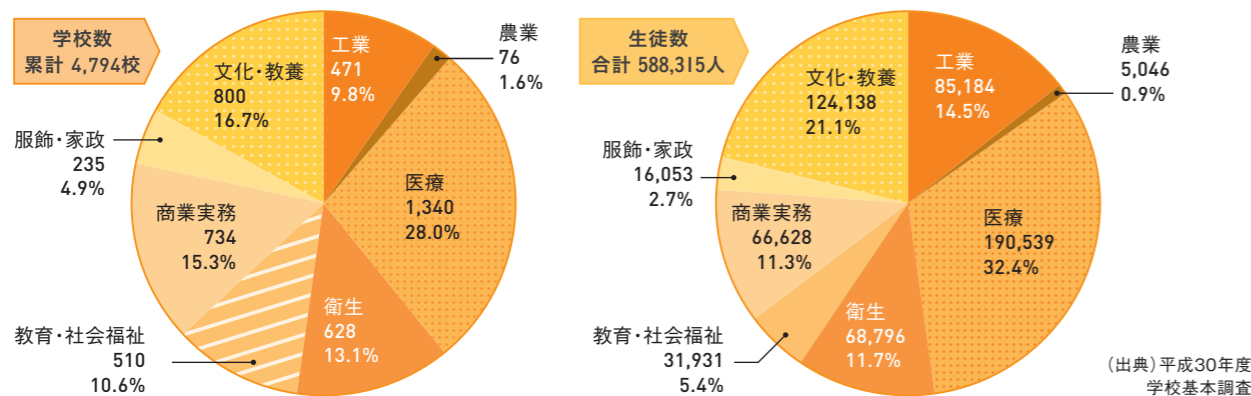


(出典) 学校基本調査(各年度)

### 幅広い学習分野

専門学校で学べる内容は、8分野に分かれており、学校数や生徒数がそれぞれ異なります。

#### 専門学校の分野別学校数・生徒数の構成比(2018年度)

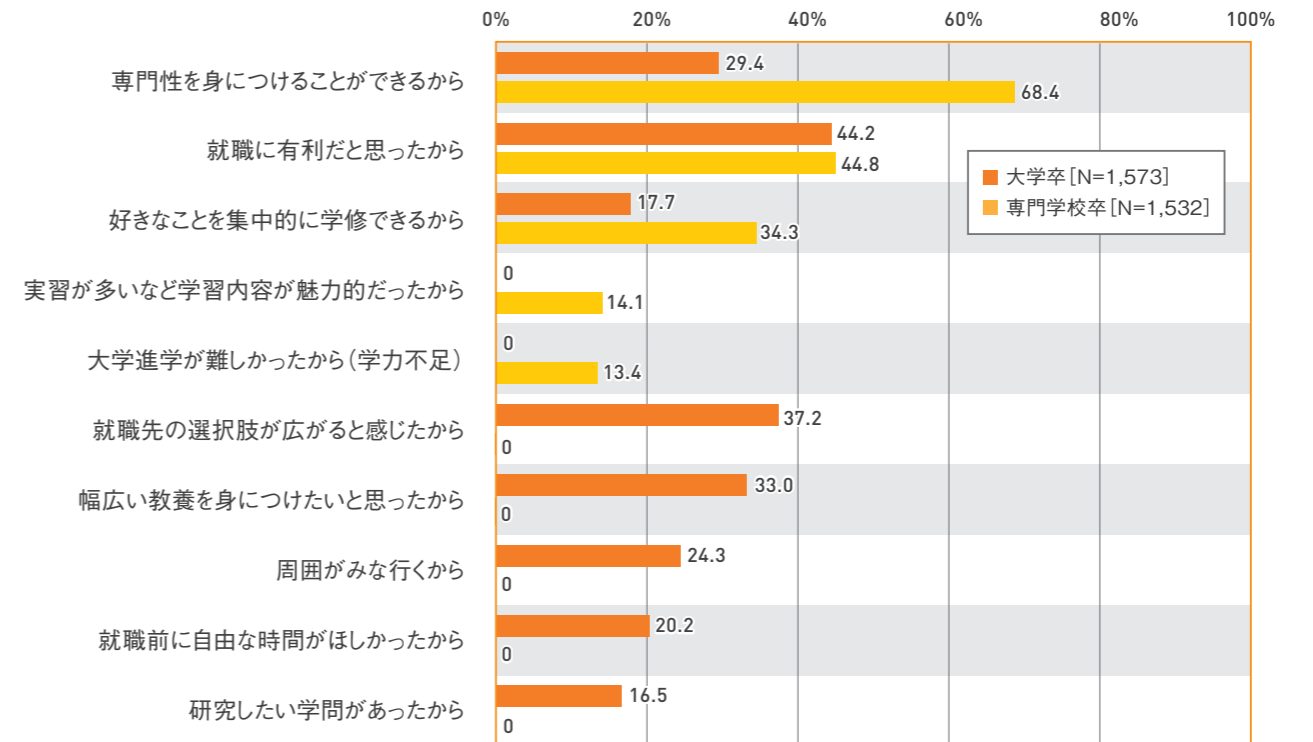


(出典) 平成30年度 学校基本調査

## 02 データで見る「専門学校の魅力」

### 専門学校を進路として選択する理由

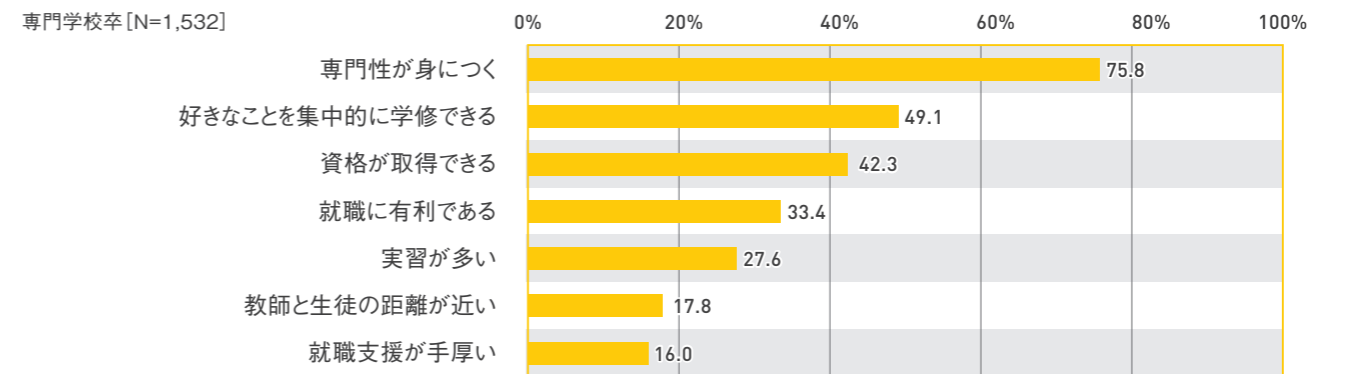
高校時点での進路決定理由を見ると、専門学校進学者は、「専門性を身につけることができるから」「好きなことを集中的に学修できるから」「就職に有利だと思ったから」などの選択割合が大学進学者よりも高くなっています。



(出典) 平成29年度「社会のニーズにこたえる効果的な情報発信の推進」卒業生調査

### 卒業生から見た専門学校の魅力

専門学校卒業生から見た専門学校の魅力として、「専門性が身につく」「好きなことを集中的に学修できる」「資格が取得できる」が挙げられています。自身の関心に応じて、専門性の高いことを学べることが評価されています。



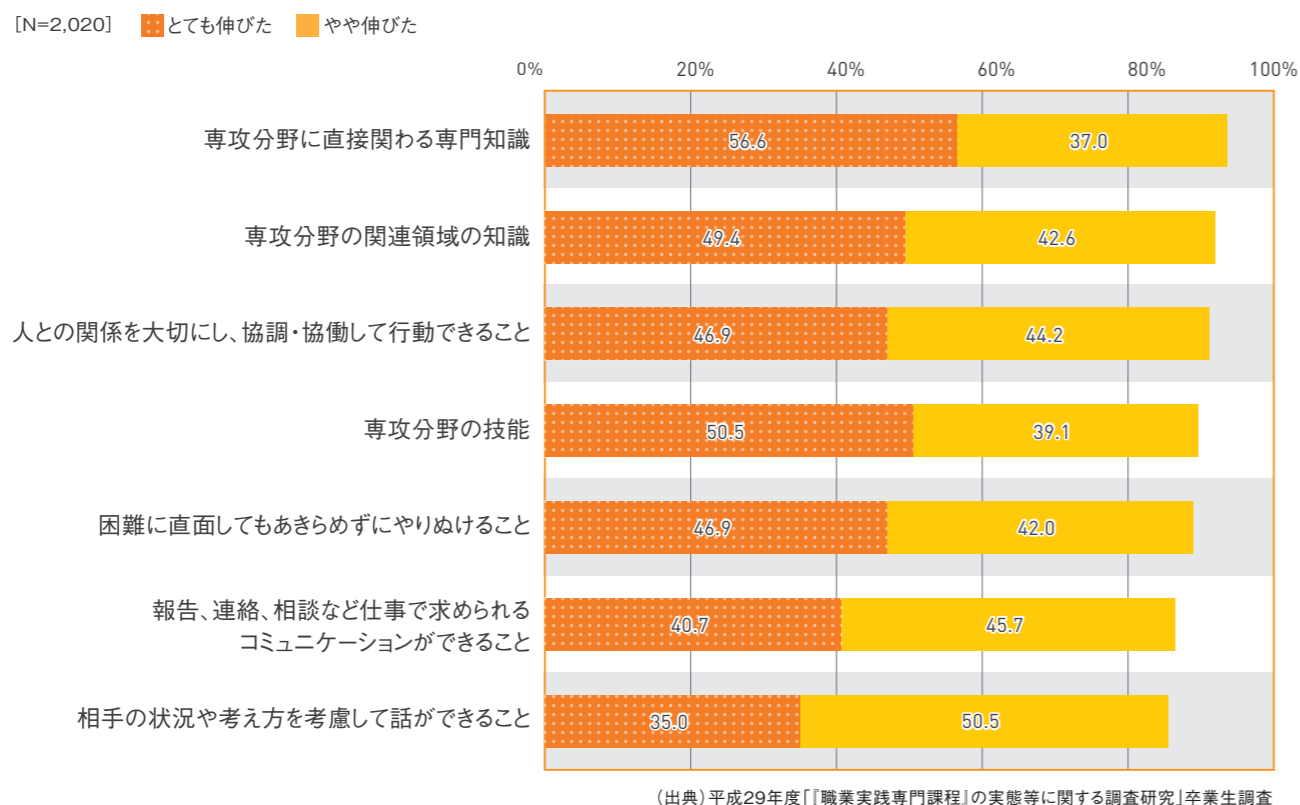
(出典) 平成29年度「社会のニーズにこたえる効果的な情報発信の推進」卒業生調査

## 03 データで見る「専門学校の成果」

### (1) 専門学校での学修成果

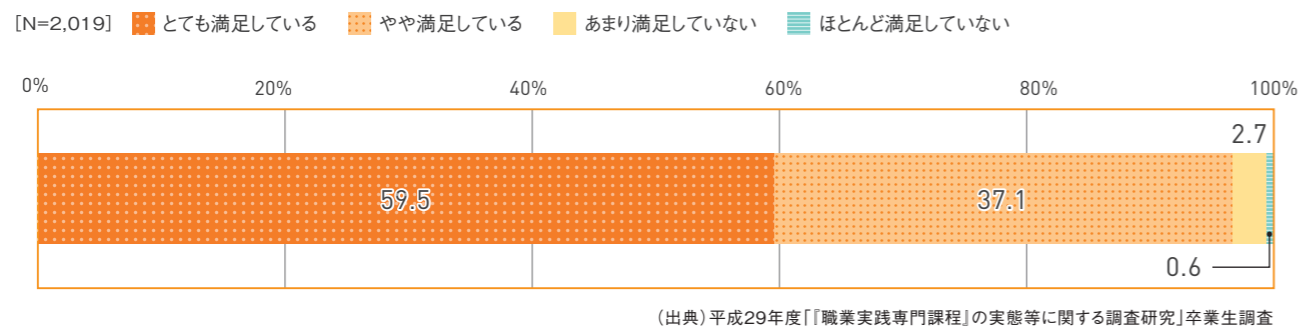
#### 専門学校の教育で成長するスキル・能力

専攻分野に関わる知識・技能を習得できることが専門学校の魅力の一つですが、実際に、専門学校在学中に「専攻分野に直接関わる専門知識」「専攻分野の関連領域の知識」について一定の成長を感じている卒業生は9割を超えています。また、それ以外にも、「人との関係を大切に、協調・協働して行動できること」「困難に直面してもあきらめずにやりぬけること」「仕事で求められるコミュニケーションができること」などの能力も伸ばすことができていることがわかります。



#### 専門学校卒業生の専門学校の教育に対する満足度

専門学校卒業生の9割以上が、専門学校の教育に対して「とても満足している」または「やや満足している」と回答しており、専門学校を卒業したほとんどの生徒が、専門学校の教育に対して満足しています。

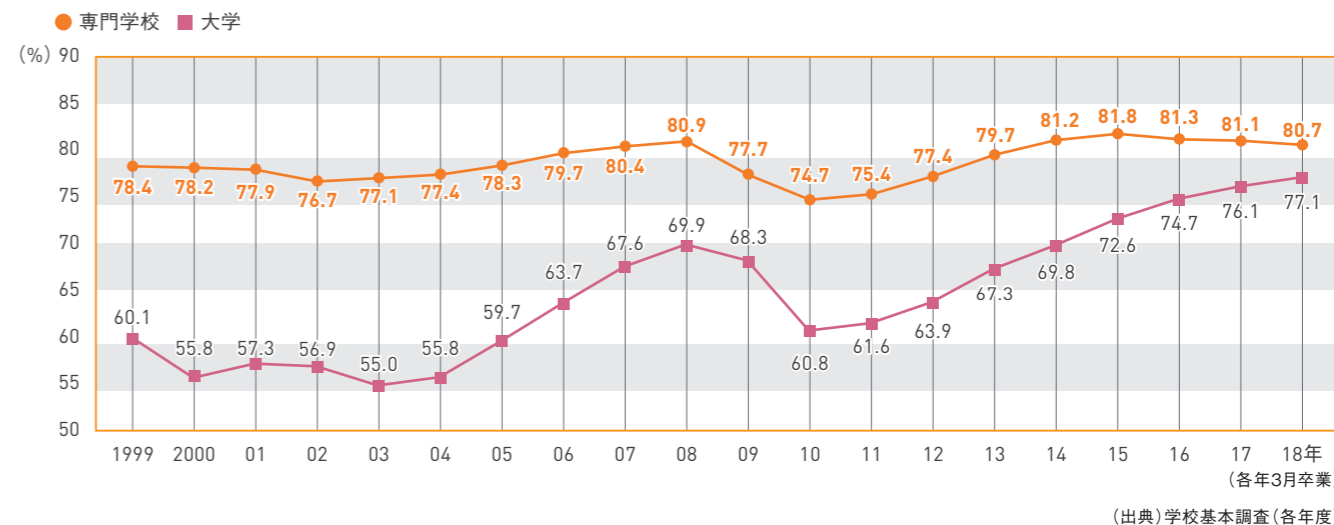


### (2) 専門学校からの就職

#### 卒業生に占める就職者の割合の推移

1982年以降、専門学校卒業生の就職率は常に大学卒業生よりも高く、2018年度の就職率は80.7%でした。また、大学卒業生と比較して社会全体の景気や産業界の動向の影響を受けにくく、専門学校卒業生の就職率は比較的緩やかに推移しています。

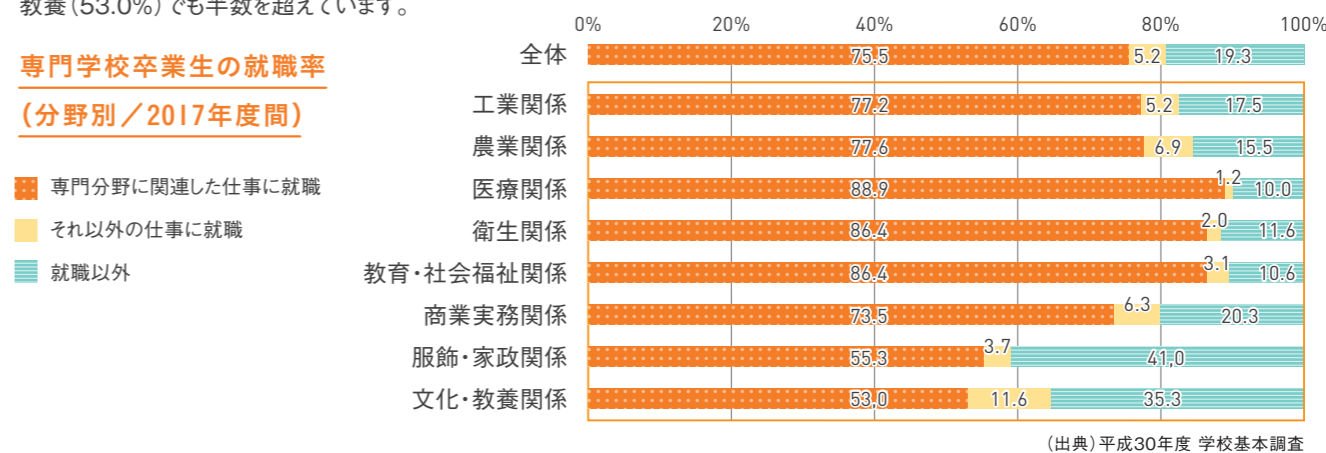
#### 高等教育機関卒業生の就職率の推移(全就職者/全卒業生)



#### 専門学校卒業生の進路希望との合致度

専門学校の卒業生は、専門学校での学びと直結する仕事に就く率が高く、2017年度の卒業生は全体で75.5%が専門分野に関連した仕事に就職しています。特に、医療(88.9%)、衛生(86.4%)、教育・社会福祉(86.4%)の3分野で8割を超え、最も低い文化・教養(53.0%)でも半数を超えています。

#### 専門学校卒業生の就職率(分野別/2017年度間)



また、専門学校卒業生の7割以上が「希望と合致している」進路に就職しており、高い割合で希望通りの就職先に就職できていることがわかります。

